

駅前の一等地の市民交流センターは高い買物

井上忠男(日本共産党)

武蔵小金井駅南口再開発事業で計画されている市民交流センターについて(ア)どんなふうをつけない理由。(イ)現在の公会堂の音楽の利用状況。(ウ)管理運営委員会の検討で面積が増え、当初55億円の建設費が66億千万円になったのはおかしい。(エ)市有地4千534㎡を



つけない。(ウ)10人の管理運営委員会に建設検討委員6人が入ったので、面積が増えた。市民文化課長 (イ)平成14年度は306件、音楽は53件。街づくり担当部長 (エ)従前と従後の評価の違い。(オ)取得費用の概算は示した。(カ)地権者と市は違う。市長 (ウ)管理検討委員会で当初の5千㎡の面積が5千500㎡に増えた結果だ。その他「乳幼児の医療費無料化の拡充」について提案・質問しました。

地域社会の安全な市民生活のために

五十嵐京子(改革連合)

近年、子どもたちが巻き込まれる悲惨な犯罪が報道される。市報によると、今年警察では治安回復元年として対策を進めてきたとあるが、ひつたりは増えているようだ。一歩間違うと命に関わる事件も市内で起きている。(ア)まず市民が自らを守るためには情



報が必要である。犯罪の手口の説明や防護の仕方など情報の充実を図らないか。(イ)多摩26市中7市で既に「生活安全条例」を持っており、都条例も10月1日から施行される。生活の安全確保は行政の基本政策と思うが、市長の見解は。(ウ)退職後のサラリーマンが地域を改めて知ってもらいなが

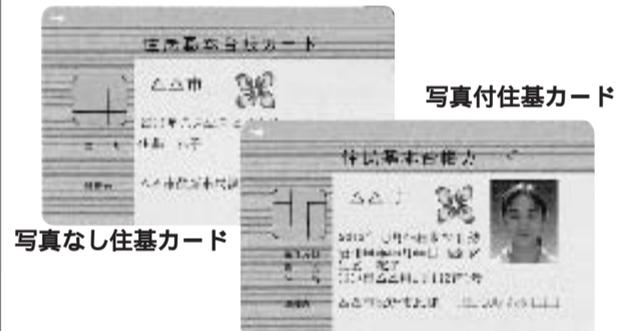
フランクフルト学派と児童呼称問題の関係

高木真人(改革21)

世界的な少子化の原因は文化破壊を狙うフランクフルト学派、フェミニズム主義者の思想だとブキャナンは指摘しています。この学派がマルクスの流れをくむが、資本家に代わりキリスト教中産階級を敵にし「セックスと麻薬」で文化破壊をしました。当市で



も、すべての学校に男女混合名簿が導入され、運動会では性差も考えずに男女一緒にかけっこをします。男女平等教育に名を借りたジェンダーフリー思想の疑いがあり、呼称もその一環ではないかと危惧するところですが、一部教員が児童同士に「さん」呼びを強制していると聞いています。



写真付き住基カード

写真なし住基カード

情報技術の進展で小金井は再生できるか

和田茂雄(公明党)

●住民基本台帳ネットワークが本格稼働したが、小金井市では住基カード手数料条例が議会の賛成少数で否決され、現在無料交付されている。受益者負担の原則から残念な議決だった。さて、第二次稼働で市民の利便性は向上するか。更に公的個人認証サービスの



実施時期はいつか。市民部長 全国どこでも住民票が取れること、引越しの手続きが簡素化されること、そしてカードが身分証明書として利用できるなどの効果がある。個人認証は本年度中に実施予定で、ネットを利用した申請、届出の際の本人確認の手段として活用できる。方について「質問し、公募市民の選考基準の明確化、兼職禁止のチェック、男女比の適正が、今後の検討課題であることを指摘した。また「学校給食について」質問した。多様化した現在では、給食の目的も変化し、これからは、夏休みの給食など子どもの視点に立つて、給食がどうあるべきかを検討し、今の予算内での配分の見直しが必要であることを指摘した。

市内の公園を調査して

稲垣庸子(市民ウェブ)

市民グループが市内すべての公園調査をした結果、200種以上の樹種が植えられており敷地に比して木が多過ぎたり清掃の行き届いていない公園が多いことがわかった。(ア)公園管理の現状は。(イ)市民が積極的に関わるシステムを立ち上げないか。(ウ)公園台帳は住



居表示等と情報を統一する必要があるのでは。環境部長 (ア)約8千万円かけているが、まだ十分でない。(イ)樹木の伐採など管理をしたという市民要望もある。(ウ)GIS(地理情報システム)に統一するのが課題である。その他、各種審議会のあり



緑が多い栗山公園

JR踏切に保安員・待避場配置、安全対策を

西岡真一郎(改革連合)

JR中央線は9月27日に仮上り線に移行し、約1年間踏切が延長され、開かずの状態が悪化する。特に小金井街道公会堂踏切は大幅に延長される。お年寄りや障害者は極めて危険。歩行者への安全対策が緊急課題。JR等関係機関の対応が遅いと認識せざる



を得ない。(ア)主要踏切南北に常時保安員を配置すべき。(イ)踏切内中央部に待避場を設置し、常時保安員を配置すべき。(ウ)保安員設置への財政負担整理は。(エ)小金井街道踏切北西部区域、小金井市公会堂踏切南側の横断歩道橋脇の公会堂敷地仕切り乗り越え及び北西部区域には対応策を講じるべき。都市建設部長 (ア)情報連絡会議報告として、小金井街道等5か所に保安員配置。小金井街道、本町、東町3か所に待避場設置、保安員配置。(ウ)連続立体交差事業費の負担。(エ)可能な所は対処する。開かずの踏切状態増大に伴う車両渋滞悪化、車両増加への近隣環境対策として、踏切付近限定にて行政のアイドリッグストップ運動の展開及びNPO等の自主的運動への理解を強く求めました。



JR中央線本町踏切